

1-6 気象概況

年 月	降 水 量 (mm)				気 温 (°C)					風 向・風 速 (m/s)					日照時間 (h)
	合 計	日最大	最大		平 均			最 高	最 低	平均風速	最大風速		最大瞬間風速		
			1時間	10分間	日平均	日最高	日最低				風 速	風 向	風 速	風 向	
平成27年	2,063.0	103.5	69.5	20.0	17.1	21.9	13.2	38.5	-2.9	2.2	13.1	北北東	26.0	北北東	1874.4
28	2,451.5	190.5	47.5	17.0	17.8	22.7	13.9	38.0	-6.5	2.2	10.7	南南西	19.7	南南西	1707.1]
29	1,678.5	138.5	58.5	21.5	16.9	21.9	12.8	37.7	-3.6	2.1	11.0	南	19.9	北東	2081.0
30	1,900.0	277.0	49.5	15.5	17.4	22.4	13.2	39.5	-3.8	2.2	13.1	南	23.6	南南西	2139.0
令和元年	2,154.0	323.5	90.0	22.5	17.6	22.6	13.5	38.4	-1.1	2.1	20.0	南	32.4	南	2001.4
令和2年	2,779.0	271.0	92.5	21.0	17.5	22.5	13.3	37.8	-2.0	2.2	15.5	南南東	29.9	南	2102.9
3	2,396.5	294.0	72.0	20.0	17.8	23.1	13.6	37.2	-5.0	2.2	15.5	南	25.5	南	1711.8]
4	1,617.5	184.5	63.0	19.5	17.5	22.7	13.4	37.9	-2.8	2.2	12.2	南	22.9	南	2116.5
5	2,003.5	205.5	65.0	19.5	17.9	23.1	13.7	38.2	-4.2	2.0	11.6	南南東	20.8	南南東	2039.7
6	2,072.0	118.0	44.0	21.5	18.6	23.6	14.7	39.5	-2.6	2.2	9.8	南東	18.1	北北東	1928.2
【内訳】															
令和6年1月	47.0	15.5	8.0	2.0	6.7	11.5	2.5	17.3	-2.6	1.7	6.2	西北西	12.7	西	145.6
2	142.5	40.5	17.5	10.0	9.3	13.8	5.6	21.7	0.7	2.7	8.2	南	15.8	南	112.9
3	169.5	53.5	9.5	3.5	11.1	15.9	6.9	22.5	-1.6	2.2	7.7	北西	16.2	西	179.2
4	184.5	70.0	25.5	14.0	18.2	23.4	14.1	28.7	8.7	2.0	7.7	北北東	14.3	北東	131.5
5	232.0	64.5	21.0	7.0	20.6	26.6	15.6	32.0	11.1	2.3	7.1	西北西	14.5	西北西	214.4
6	324.5	74.5	28.5	8.0	24.1	28.8	20.4	35.0	14.4	2.2	8.4	南南西	16.4	南南西	138.2
7	363.0	113.0	44.0	13.5	28.9	33.4	25.9	38.4	22.3	2.5	7.0	南南西	15.4	南南西	205.5
8	204.0	111.5	30.5	17.0	30.5	36.3	26.7	39.5	24.4	2.2	9.5	北北東	18.1	北北東	269.9
9	85.0	45.0	25.0	10.0	28.9	34.6	24.7	38.0	19.6	2.4	9.8	南東	17.4	南東	246.0
10	125.5	59.5	43.5	21.5	22.0	26.3	18.7	32.1	14.4	2.7	7.2	北北東	13.9	北北東	124.1
11	186.0	118.0	41.5	15.5	15.2	19.8	11.6	25.5	4.9	2.2	7.0	北北東	13.3	北東	146.7)
12	8.5	5.5	4.0	1.0	7.5	12.5	3.3	19.4	-1.3	1.4	5.3	西北西	11.0	北西	160.9

資料：気象庁HP「過去の気象データ検索」

※この表は、地域気象観測所（北緯33度18.2分、東経130度29.6分、海拔7m、久留米市津福本町）における観測値である。

※掲載している気象データは、過去にさかのぼって修正される場合がある。

※数値に関する記号の説明について、以下のとおり気象庁HP「過去の気象データ検索>利用される方へ」より説明文を抜粋する。

「]」：統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱います（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

「[」：統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています（資料不足値）。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があります。